



・西南学院大学・

図書館報

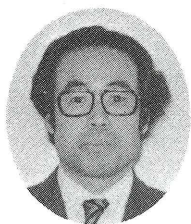
No. 107

1986年(昭和61)年4月25日発行

〒814

福岡市早良区西新6丁目2番92号

西南学院大学図書館



良き師、良き友、良き書物

— 新入生を迎えて —

図書館長 川 島 信 義

(1)

19世紀後半、「空気の不足」をさえ感じさせるロシア帝政下のペテルブルグの街を舞台に、ドストエフスキーの小説『罪と罰』は展開する。

「いや、そりゃ本当だ。僕はナポレオンになりたかった。そのために人を殺したんだ…え、それでわかるかい」。

金貸老婆と、たまたまそこに居合わせたその妹リザヴェータとを殺した貧乏学生ラスコニコフは、餓死に瀕する一家を救うために身を売り「自分を殺した」大罪の女ソーニヤに、こう語った。ソーニヤの犠牲にもかかわらず、父マルメラードフは泥酔して街路で轢死し、継母は発狂し、血をはきながら死んでいった。「俺は震えおののく虫けらか、それとも権利を有するか…」。

ドストエフスキーは苦悩するさまざまの人間像の描写をとおして、人間の根底に横たわる罪の問題を、赤裸々な形で提起する。それは、私の学生時代に、生きることの意味や学ぶことの意味について深く考えることを教えた、最も貴重な書物の一つであった。

(2)

充実した学生生活に不可欠な三要素として「良き師、良き友、良き書物」ということがいわれる。そのどれ一つを欠いても、もちろん学生生

活はみじめなものとなるほかはないであろう。

どういう師、どういう友をえることができたかということが、学生諸君一人一人の学生生活を、ひいてはその一生を左右することになるといっても過言ではない。同様にここで注意されるべきは、人類が生んだ偉大な書物の数々は、ただ単に「よき書物」たるにはとどまらず、悩める時の、また悲しい時のすばらしい師、すばらしい友ともなるという点である。そのことをすでに経験した諸君も、けっして少なくはないであろう。このすぐれた書物との出会いなくして、学生生活を真に意義あるものにすることは、不可能であるといってよい。大学図書館はそのために、門戸を開いて待っている。

(3)

「すぐ、今すぐ行って四つ辻にお立ちなさい。そして身をかがめて大地に接吻なさい。あなたは、それをけがしたのです」。

ソーニヤは、火のような眼でラスコニコフをみつめながら、そういった。彼女の愛によって、彼はやがて、再生への道を歩み出す。ドストエフスキーは、その彼女の愛の根底に、キリストによる救いの信仰をみていたのであった。

経済学部教授(経済学史)



商学部助教授 佐々木 武夫

新入生の皆さん、なにはともあれ入学おめでとう。鬱陶しく目の前にぶら下がってきた目標は突然消失し、これからは勝手気ままで自由な世界が華やかに始まります。やってみたくも思ってきた出来なかったこと、もう少し待てば可能となることは数多く準備されているはずです。が、大学生活を含んで今後の生活は、いかに申し開きをしようとも皆さん自身の責任と創意に基づく生活でもあると思います。

この大学生時代に、大学が皆さんに提供するものの一つに、講義やゼミを通しての過去の知的遺産の伝承とその革新の試みがあります。しかし、この大学の使命とも言うべき活動にどの程度真剣に参加すべきかについては、大きな自由度があるのが現実です。大学としては最低水準を設定し、その確保に努めうるのみです。もし、それこそ責任と創意に基づいて、さらに深く学ぼうとする意志を持つならば、大学はそれに答えるべきスタッフと設備を準備しています。図書館は、その主たる設備ですし、キャンパスの真中にあり目立ちますので、ぜひ早いうちに利用を始めてほしいものです。

ところで、昨年は国際青年年でしたが、この年にちなんで世界の青年の社会意識の比較研究が試みられてきました。日本の青年の特徴として、社会不満がとび抜けて高いこと、交際範囲

が狭いことの二点が指摘されました。また、青年の社会意識の変化として、次の点もしばしば指摘される点です。現代の高学歴青年におけるアスピレーションの低下傾向と、人並み生活志向の強まりという変化です。このエリート意識の弱体化、出世離れ現象は、人生を矜持として生きる態度を育む可能性を持つのですが、他面では学歴をもつ青年が社会全般のことを考えず、私的世界にのみ沈潜して良しとする態度を育みやすい動向であると指摘されています。

そこで、大学生時代の読書のあり方としてのお話ですが、このお金は無いが充分な時間のある四年間に、社会の現状とその問題点のよって来たところ、あるいは歴史的背景に関心をもち書物を読んでいただきたい。そして、日本の青年の特徴として指摘された社会不満の原因を考え、知識の交流を通じた人間関係の形成にも努力してほしいと思います。大学は「気くばりの進め」やハウ・ツーもの等の狭い私的合理主義に対しては正解をお答えすべき遺産を持ちません。が、真実や真理というより普遍的な問いに対しては、たぶん、お答えすべき遺産あるいは、その答えに至る道筋を示しうるのです。

(ささき たけお：経営社会学)

図書館の

上手な利用法

「溺潭相談」

法学部助教授 堀 真 清

明治時代の新聞・雑誌は「溺潭叢談」などという洒落気たっぷりの欄を設け、実に勝手なことを書かせていたそうです。

さて、今回の私どもへの公案は「図書館の上手な利用法」。ウーム。困惑、昏惑。且らく工夫を放下し、話頭を拈放し……要するにこうした問題にはさわらぬこと。これが上策ではありますが、それでは浮世の義理が果せません。そこできわめて難解な日本語ながら、いざ「独参」。

これは私の学生時代利用した大学図書館のことを念頭に置いての話ですが、そこには地階に喫茶室があり、文具類も販売していました。学生相手のコーヒーは格安でした。そうです。ここは外に用がないので図書館にでも行こうかという学生にも御出入自由の宝島。本学の図書館にこんな磁場があったらと思うのです。

図書館というのは本や情報を収集し、読書の便宜を与えるだけでなく、友と出会い、あわよくば本と交わした会話、読書のもたらした興奮をコーヒー片手に共有し、知的創造へと発展させていくための場でもあると考えるのですが、さてどうでしょう。

図書館和尚、大喝一声。「デキネイソーダン！」

「図書館の自分流利用法」

文学部助教授 菱 谷 晋 介

図書館の機能は非常に多様であるが、ユーザーの立場からみた場合、基本的には次の3つに要約できるだろう。第一は、読書のための物理的スペースの提供、第二は、貸本屋としての機能、第三は、巨大な辞書・事典としての機能である。図書館を上手く利用するとは、これら3つの機能をバランスよく、統合的に使うということであろう。ただ、第一は自分の部屋や、空いた教室で代替できるし、第二も、どのような本が必要かということが明確で、かつ経済状態さえ許せば、必ずしも図書館に依存する必要はない。むしろ、必要な本は、身銭を切って自分で買うべきだと思う。しかし、第三の機能だけは、個人では如何ともしがたい。したがって、図書館を上手く利用するためのキープポイントは、辞書機能の利用法の修得ということになるだろう。

そして、そのためには、目録カードや文献データベースの扱いに慣れることが重要である。

しかし、図書館を利用する際に何よりも大切なことは、どうしても知りたい、解決したいというような強烈な問題意識であろう。これさえあれば、図書館にも足繁く通うようになるだろうし、そうすれば自然に自分流の利用法も体得できるはずである。本来、“方法の獲得”とはそういうものであり、大学生とはそういう人達のことを指すのだろうと思う。

(ほり まきよ：政治史・外交史)

(ひしたに しんすけ：心理学)

◆図書館の上手な利用法

—先輩からのアドバイス—

文学部英文学科 竹田直子

私が初めて図書館に足を運んだのは三年前の五月上旬であった。その窓から見えた新緑の輝きを今も鮮明に憶えている。閲覧室の空気はピンと張り詰め、そこでは時間が止まっているかのように感じられた。

ところで読書とは自分で探し求めることに意義があると思う。だから単に課題を調べるだけではなく、本と仲良く付き合っていこうという気持ちを持たれてはどうだろう。そうすれば本のタイトルがむこうから飛び込んでくるということもあるのではないだろうか。

そのために、時間に恵まれた今を十分活用してほしい。“学問の乞食になれ”という言葉があるが、この言葉をみなさんに贈りたいと思う。本当に今、掴めるものは何なりと掴んでおいてほしい。書物に接する時間を大学生活における貴重な部分にしてほしい。

春。木々は今年もまた年輪を増やす。僅かながらも木々の緑はその分だけ確実に増える。来年、緑の量はもっと増すにちがいない。このように着実に自力で大きく育っていく木々にふと感動を覚える。みなさんも着実に大きな木になれるよう努力してほしい。そしてそれがどこかで花を咲かせる力を蓄えられるよう希望する。

(たけだ なおこ)

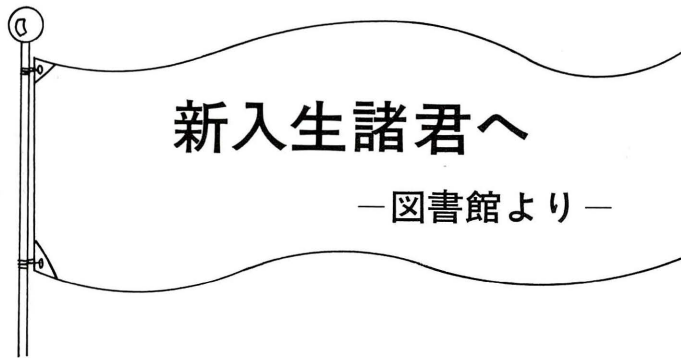
経済学部経済学科 小嶺康二

最初に、大学が高校時代までと大きく異なる点は、それぞれの学問分野に関しては、限られた範囲がなく無限であるということです。高校時代までは「教科書」があり、一定の範囲を提供していましたが、その枠が取り去られ学問領域も奥深いものとなります。

そこで私が採っている図書館利用法を参考までにご紹介しますと、まず一・二年次においては自分の専攻とは無関係な分野に大いに挑戦し幅広い教養を身につけるためのまたとない機会となるでしょうし、さらに三・四年次に進めると、専門書は嫌でも読まなければなりません。それらの専門書は大半が高価なものであり、学生にとってかなりの負担となりますし、今日のように情報量が溢れた時代になると、自分で買っていたのじゃ追いつかなくなってくるのじゃないでしょうか。そうすると必然的に図書館利用の態勢が変わってくると思います。又図書館は、大学の顔とさえ言われることを思い起して私は図書館が、“自ら学ぶ”中心的な場となつて、新入生の皆さんがこれから大いに活用されることを願っております。

最後に、講義の空き時間等を利用して、図書館を訪れてみてはいかがでしょうか。

(こみね やすじ)



今 永 義 純

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから4年間を、諸君が勉学、クラブ活動等と、有意義に学生生活を送られるよう願っています。このうち図書館には、諸君の知的好奇心を満足させるであろう、一般教養図書、専門図書が数多く揃っていますので、図書館利用が学生生活の一部になるよう期待します。

図書館を利用するには、何も片ひじを張らずに気楽な気分を利用してほしいということです。図書館に行くというと、何か勉強をしに行く、何か特定の図書を探しに行くというだけでなく、自由な時間があるから、ブラッと寄ってみる。書架の間をブラブラしていると、思いがけず、興味のある図書に巡り会うことがあるでしょう。

最近では、図書、雑誌の値上がりが大きく、諸君の懐から買うのにも限界があるでしょうから、大いに図書館を利用してほしいと思います。各種の週刊誌、月刊誌等の雑誌や、ベストセラーズ図書も揃っています。足繁く通っているうちに、図書館の利用にも慣れ、全蔵書(約44万冊)が自分のものになってくるでしょう。諸君が直接に利用できる閲覧室は、1階(学習室、新聞閲覧コーナー等)、2階、3階、4階の開架閲覧室ですが、ここには、学生向けのオープン図書が約11万冊出ています。諸君の直接目に触れな

い図書が書庫を中心に、約33万冊あることになります。これらは、3階のホールに設置してある目録カードで検索して、係員に請求して利用できます。その他特定の図書等で、探しても見つからなかった場合も、あきらめずに何でも係員にお尋ね下さい。

よく3年の後半から4年生になってはじめて、ゼミでのレポート提出、卒論の準備等にかかってから、あわてて図書館にきて図書を探しているのを見かけます。「目録カードはどこにあるのですか。」「331/8/16の図書はどこにあるのですか。」とかいったことをよく係員に尋ねています。これではせっかく諸君のための図書館が嘆きます。図書一冊、一冊は、諸君の利用を待っています。生涯一度も利用されず、ほこりにまみれて、書庫の中で眠り続けるのは、図書に対しても失礼です。

若者の活字離れが進んでいると言われていますが、諸君が将来社会人となって、仕事と同時に、余暇の活用するとき、知的好奇心を満たしてくれる一人で楽しめるものの一つに、読書がはいることを期待します。

図書館員一同、諸君の図書館利用を心よりお待ちしております。

(いまなが よしずみ・情報サービス課長)

こんな本も 図書館にあります

2階〈一般教育関係図書〉

田 渕 智 子

皆さんは“図書館”と聞くとどんなイメージを抱くでしょうか。「堅い」「勉強する人が行く所だ」「試験前だけにしか必要ない」などといった専門書しか置いていないというイメージをおもちでしょう。しかし図書館には充実した専門書の他に、皆さんが書店で目を引かれるような図書や雑誌も数多く置いており、勉強以外でも気軽に楽しむことができます。

たとえば2階の入口すぐ右側に“ベストセラーズコーナー”が設けてあります。これは他大学には見られない西南独自のもので、過去30年間のベストセラーや最近の人気作家の著書が一か所に集めてあります。学生には人気のあるコーナーとなっており、現在 450冊ほどあります。

さらに、分類番号が 910番代では、文学全集や各作家ごとの著作集が揃っていて、夏目漱石、宮沢賢治、三浦綾子などの有名作家の図書はたいへん利用が多いようです。

また雑誌では、皆さんが書店で買うような“アサヒカメラ”“るるぶ”“キネマ旬報”“スキージャーナル”等の趣味・娯楽雑誌も置いており、一般教養関係として 120種以上もの雑誌が自由に閲覧できるようになっています。

このように、図書館には専門書ばかりでなく、皆さんの興味をひくような本がたくさんあるのです。どうぞ図書館を大いに利用して学生生活の思い出の場所の1つにして下さい!!

(たぶち ともこ：整理課・庶務係)

3階〈商・経済・児教関係図書〉

田 中 朋 子

3階閲覧室には、商・経済・児教関係図書が置かれています。今回はその中から、案外知られていなくて誰にでも気軽に読める本を紹介します。では入口のドアを開けまっすぐ歩いていきましょう。すぐ右手に登場するのが“美術書大型本”です。世界や日本の有名な絵が収められていますので、たまにはゆったりとした気分で眺めてみてはいかがでしょうか。次に 590番代の料理の本。料理が苦手な人もお弁当、おかしなどの本が揃っていますのでこれで一安心！続いて 710番～ 760番代の芸術関係の本です。美術・写真・音楽などの様々な興味深い本がずらりと並んでいます。909番代には、皆さん御存知の「ピーターラビット」や「クマのプーさん」を初めとする絵本があります。幼い頃に読んだ懐かしい絵本を開いて、昔を思い出してみるのがいいですよ。入口の左手の“絵本・

楽譜Ⅱ”と標示してある棚にも数多くの本が並んでいますのでお見逃しなく。そして380番代には、世界・日本の民話が置かれています。その他、雑誌の棚には「暮らしの手帖」「栄養と料理」といったよく知られている本もあります。

本は読む人によって、おもしろかったりそうでなかったりと、人それぞれです。ぜひ一度は本を手にとって自分の目で確かめてみて下さい。思い出になる本が見つかるかもしれませんよ。

(たなか ともこ：整理課・受入係)

4階〈文・法学関係図書〉

渡 辺 浩 之

まず、4階のフロアーには、留学生別科のコーナーがあります。ここには日本について外国語で書かれたものや、日本の小説の英訳本などが集めてあります。「私は、英訳の小説なんてとても読む気がしない。」という人には、漫画はどうですか。英語では「Charlie Brown & Snoopy」仏語では「Les Schtroumpfs」などがありますので、辞書を片手に読んで見るのも楽しいと思いますよ。閲覧室を中に入っていくとすぐ左手に、法律及び別科関係の雑誌があり、つきあたりにも、英語、仏語関係の雑誌があります。「ジュリスト」「English Journal」「Time」「Reader's Digest」etc. 女性の方には、毎号パリのファッションが載っている「Elle」をおすすめします。また4階には、政治・外交・国際問題・法律・英語・仏語関係の本もたくさんあります。辞書類も充実していますので、利用して下さい。その他、絵本のファンの方には、洋書の絵本もありますので、ぜひごらん下さい。なお、和書の絵本は3階に置いてあります。このように、4階には、多数の本・雑誌が

あります。明るくて雰囲気がいい4階へ、ぜひおいで下さい。

(わたなべ ひろゆき：整理課・洋書係)

CLOSED 〈書庫・閉架図書室〉

杉 野 哲 谷

CLOSEDの方に配架される本は、和漢書では主に、和装本、貴重本、高価本、小形本(文庫本、新書本等)、古い本、副本がある本、入手困難な本、限定出版物などがあります。洋書では原則としてCLOSEDに配架されますが、英米文学、仏文学、国際交流関係、指定図書、先生方からのOPEN指定図書などが例外としてOPENに配架されます。その他雑誌、判例・法令集等があります。

その中から2～3の本を紹介します。

- ①「**方丈記**」一大福光寺蔵本一卷子本一軸(複製版)鴨長明(法名蓮胤)著1212(建暦2)成立 長明が、晩年日野(京都市伏見区)に構えた方丈(約3m四方)の庵で閑居生活の様と心境を記したものの。和漢混済の完成された形として高く評価されている。
- ②「**Capital: a critique of political economy**」Karl Marx. K. マルクスの主著で社会主義に科学的な基礎を与えたとされる著作。原題を直訳すれば資本一経済学批判である。マルクス経済学及びマルクス、レーニン主義の基本文献。
- ③「**雪国**」川端康成 初版本(複製版) 1937年創元社刊。サイデンステッカーの英訳を始め各国語に広く翻訳。「雪国」と「千羽鶴」及び「古都」の評価により1968年日本人最初のノーベル文学賞を受賞。この様に初版本、原書その他めずらしい本も多数CLOSEDの方に所蔵しておりますので、どしどしカウンターの方へご請求下さい。

(すぎの てつや：情報サービス課・電算係)

☆ ニュース・お知らせ ☆

〈図書館委員会〉

- 61.3.11 ① 図書館業務の電算化について
 ② 61年度一般図書費、新聞雑誌
 費の配分について

〈研修・出張〉

○私立大学図書館協会西地区部会 昭和60年度
 第3回役員会および第2回東西合同役員会
 61.3.19,20 於：浜松市
 川島館長、刀根事務次長出席

〈人事〉

退職 課長補佐 杉本善夫 (61.3.31付)
 任用 司書補 山下由紀子 (整理課・和漢
 書整理係) (61.4.1付)

〈学術雑誌総合目録欧文編のデータ提出〉

東大文献情報センター (本年4月より、学術
 情報センターと改組) より、学術情報システム
 の一環である、学術雑誌についての、目録・所
 在情報サービスを提供する際の基になる、学術
 雑誌総合目録欧文編のデータベースを構築する
 ための全国一斉調査が行われた。

6か月間にわたって調査をし、本学図書館か
 らは、約2,000種の欧文の雑誌についてデータを
 調査し、提出した。相互協力のための基本的ツ
 ールとなるものであり、今後の資料の相互利用
 が一層推進されるものと期待される。

告知板

昭和61年度 図書館行事予定表

4月7日(月) 新入学生利用指導(文・法)
 8日(火) " " (商・経)
 5月9日(金)・10日(土)
 学院創立70周年記念行事で休館
 7月1日(火) 夏休長期貸出開始(9月18日まで)
 11日(金)～9月4日(木)夏季休暇
 休暇中学習室閉室
 9月9日(火)～9月27日(土)前期試験
 29日(月) 30日(火)大学休業のための休館
 11月中旬 大学祭期間中学習室閉室
 12月15日(月) 冬休長期貸出開始(1月18日まで)
 25日～1月7日(水)冬季休暇
 休暇中学習室閉室
 25日(木) クリスマス休館
 26日(金) 開館9:00～21:00
 27日(土) 開館9:00～12:00
 29日(月)～1月5日(月) 年末年始の休館

62年

1月20日(火)～2月5日(木) 後期試験
 27日(火) 春休長期貸出開始
 (卒業予定者は 月末日まで)
 (上記以外者は 4月22日まで)
 2月6日(金)～ 春季休暇
 休暇中学習室閉室
 中旬 入学試験のため休館
 3月上旬 在庫調査で開架閲覧室閉室

休館・閉館その他行事予定については、
 そのつど、図書館の玄関に掲示します。

編 集 後 記

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。
 授業も始まり、大学での新たな勉学、又クラブ
 活動にと忙しい毎日をおくられていることと思
 います。

今号は、新入生の皆さんにも、図書館の利用
 を、これからの大学生活の一部としていただき

たいとの願いで編集しました。大学での四年間
 は、これからの人生の中で、もっとも自分の時
 間を持てる時かもしれません。その貴重な時間
 の少しでも読書にむけられてはどうか。
 図書館の有効な利用を期待しております。

(Y. A)